

◎ 純利益 3千4百万円（給水収益は0.4%減少したが、黒字を確保）

業務概要

地下水採取による地盤沈下の防止と産業基盤の整備を図るため、工業用水を給水。

○給水区域

草加市、八潮市、蕨市及び戸田市の全域並びにさいたま市及び川口市の一部（工業用水法による地下水汲み上げ規制区域である県南東部地域）

○給水事業所数 148事業所（前年度 146事業所 +2）

○料金単価 22円53銭 /m³

○給水契約水量 6,651万m³

（前年度 6,653万m³ △0.03%）

○企業債残高 1億7千5百万円（前年度比 △35.2%）

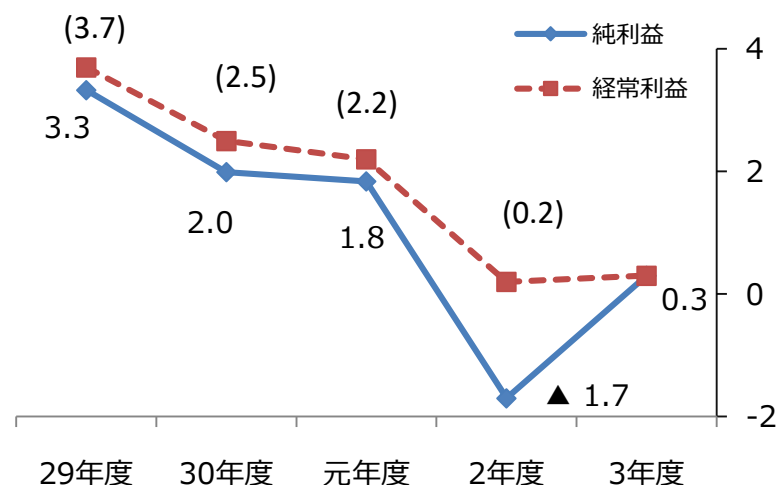
決算概要

単位：百万円

| | 3年度 | 2年度 | 増減額 | 増減率(%) |
|------------|-----------|-----------|--------|----------|
| 事業収益 | 1,892 | 1,791 | 101 | 5.7 |
| （うち給水収益） | (1,553) | (1,558) | (△5) | (△0.4) |
| 事業費用 | 1,858 | 1,962 | △104 | △5.3 |
| 純利益(△は純損失) | 34 | △171 | 205 | — |
| うち経常利益 | 32 | 22 | 10 | 46.1 |

・ 令和3年度は、排水処理施設の解体に伴う撤去費が増加したが、委託料の減等により、経常利益は1千万円増加した。

純利益及び経常利益の推移（単位：億円）



- ・ 給水収益の減少や、維持管理費の増加等により、経常利益、純利益は減少傾向。
- ・ 今後は事業者のニーズに沿った施設規模の適正化や料金の在り方を検討し、経営改善に努めていく。

令和3年度 公営企業会計決算（水道用水供給事業）

◎ 純利益 21億6千3百万円（給水収益は0.02%増加。維持管理費は増加したが、黒字を確保）

業務概要

河川表流水（荒川・利根川水系）を水源として、県内5つの浄水場から水道事業者55団体（58市町）へ水道用水を供給。

○実績給水量 6億3,518万m³

（前年度 6億3,506万m³ +0.02%）

○料金単価 61円78銭 /m³

○企業債残高 1,078億9千8百万円（前年度比 △5.6%）

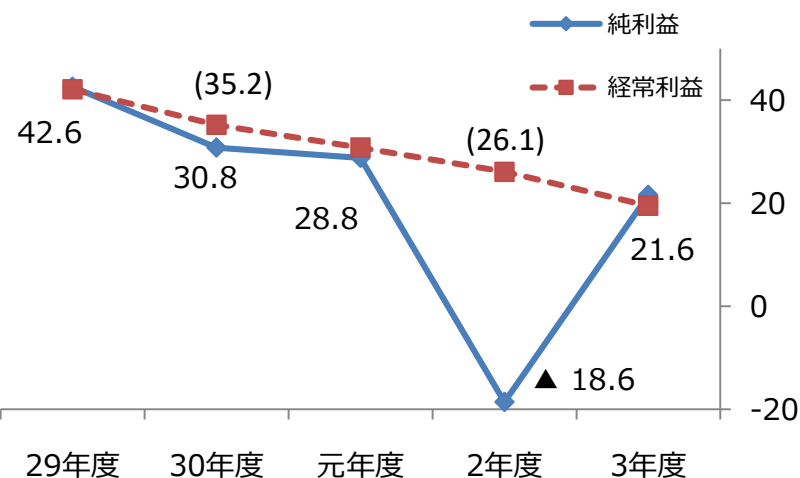
決算概要

単位：百万円

| | 3年度 | 2年度 | 増減額 | 増減率(%) |
|------------|------------|------------|--------|----------|
| 事業収益 | 44,413 | 49,879 | △5,466 | △11.0 |
| （うち給水収益） | (39,241) | (39,234) | (7) | (0.02) |
| 事業費用 | 42,250 | 51,742 | △9,492 | △18.3 |
| 純利益(△は純損失) | 2,163 | △1,863 | 4,026 | — |
| うち経常利益 | 1,951 | 2,608 | △657 | △25.2 |

・ 令和3年度は、修繕費の増加や原油価格の上昇に伴う動力費の増加等により、経常利益は6億5千7百万円減少した。

純利益及び経常利益の推移（単位：億円）



- ・ 施設の老朽化に伴う修繕費や薬品費等の維持管理費の増加により、純利益、経常利益は減少傾向。
- ・ 安全・安心で良質な水の供給のため、高度浄水処理の導入など必要な投資を行いながら、コスト縮減にも努めていく。

令和3年度 公営企業会計決算（地域整備事業）

◎ 純利益 1億5百万円（産業団地の分譲収益は減少したが、黒字を確保）

業務概要

地域経済の活性化や雇用機会の拡大などを目的に、産業団地等を造成。

○事業実施地区（8地区）

- ①松伏・田島地区 ②川越増形地区 ③行田富士見地区
④嵐山花見台地区 ⑤富士見上南畑地区 ⑥鴻巣箕田地区
⑦寄居桜沢地区 ⑧羽生上岩瀬地区

決算概要

単位：百万円

| | 3年度 | 2年度 | 増減額 | 増減率(%) |
|----------|-------|--------|---------|--------|
| 事業収益 | 4,378 | 14,474 | △10,096 | △69.8 |
| （うち分譲収益） | 3,525 | 13,570 | △10,045 | △74.0 |
| 事業費用 | 4,273 | 12,876 | △8,603 | △66.8 |
| 純利益 | 105 | 1,598 | △1,493 | △93.4 |
| うち経常利益 | 232 | 1,527 | △1,295 | △84.8 |

・ 令和3年度は、完成した産業団地がなかったため、分譲収益が減少し、純利益は14億9千3百万円減少した。

○団地別分譲収益

| 団地名 | 分譲収益 | 分譲区画 |
|----------|-----------|------|
| 草加柿木 | 22億5千5百万円 | 3区画 |
| 本庄いまい台※ | 11億2千万円 | 3区画 |
| 秩父みどりが丘※ | 1億5千万円 | 1区画 |

※ 本庄いまい台(H9完成)及び秩父みどりが丘(H8完成)については、貸付契約していた区画の一部をR4.2月に分譲した。

○産業団地貸付収益

4億2千5百万円
6団地22社（分譲後※20社） 48.7ha（分譲後※43.3ha）

○ゴルフ場施設貸付収益

吉見、大麻生ゴルフ場 3億3千2百万円

純利益及び経常利益の推移（単位：億円）

